

国際会議報告

AIC2023 Thailand 通常総会報告

Report on the AIC2023 Thailand General Assembly

堀内 隆彦 千葉大学大学院
Takahiko Horiuchi Chiba University

タイのチェンライで開催された AIC2023 の Congress 会期中に招集された通常総会について、本学会代表として出席した。総会で審議、報告された主要事項を報告する。

1. AIC 本部の移転

AIC は 2012 年 7 月まで、スイスのチューリッヒを本部として運営されていたが、取引銀行の事情により口座を閉鎖するように要請があったことから、2012 年 8 月に豪州シドニーに移転した。しかし、2019 年の豪州政府の新たな規制により、豪州に AIC の銀行口座を維持し続けることが困難となった。そこで、米国、イタリア、英国、ドイツ、オーストリアへの移転可能性を資金や法的な側面を含めて検討した結果、最も利点のあるオーストリアのウィーンへの移転を理事会で慎重に決定し、2022 年 10 月に手続きが完了した旨の報告があった。

2. 定款の変更

AIC 正会員の投票により、2023 年 6 月に豪州の International Colour Association の解散が可決され、オーストリアの International Colour Association - Multidisciplinary Association in the field of Colour, Multidisziplinäre Vereinigung auf dem Gebiet der Farben, Abkürzung AIC が設立された。すなわち、移転に合わせて、AIC の組織名 International Colour Association に、「色彩分野の学際的協会」という名称が追加された旨の報告があった。その後、変更された定款の説明が詳細にあり、変更内容の詳細は割愛するが、加盟国の投票により承認された。



3. 会費の値上げ

スイスから豪州に移転した際に値上げして以来、AIC 会費は据え置きされてきたが、10 年間の経済上昇等を鑑みて、2024 年より値上げに踏み切る旨の報告があった。具体的には、一般会員は年間 €122.00 から €150.00 となる。

4. AIC Awards

AIC では、2 年おきに AIC Awards として、色彩科学の分野における優れた業績を称える JUDD Award と、デザイン、芸術、建築、人文科学の分野で優れた功績を称える CADE Award が Congress で授与される。今年度受賞者の選考過程の説明があり、JUDD Award は米国の Rolf Georg Kuehni 氏が、CADE Award はイタリアの Clino Trini Castelli 氏がそれぞれ受賞したことが報告された。

5. 役員の変更

次期 AIC 会長は、現副会長であるイタリアの Maurizio Rossi 氏が就任することとなる。そのため、空席となる副会長に現 Secretary/Treasurer であるポルトガルの Maria João Durão 氏が立候補した。その Secretary/Treasurer の空席に現 Ordinary member であるタイの Pichayada Katemake 氏が立候補した。さらに、その Ordinary member の空席に、スウェーデンの Eva-Lena Bäckström 氏が新たに立候補した。加盟国による信任投票の結果、いずれも承認された。

6. 今後の AIC 国際会議

AIC2024 の中間大会は、ブラジルのサンパウロ ESPM 大学において、2024 年 9 月 17 日～19 日で開催することが報告された。また、2025 年の AIC2025 の Congress は、台湾の国立清華大学で開催することが報告された。加えて、2026 年以降は、中間大会はオンラインで開催することも含めて検討中であることも報告された。

7. 付記

AIC の閉会式において、今回の Congress には 29 か国から 229 名の参加があったことが報告された。なお、日本からは 60 名の参加があり、全参加国の中で最大であった。全参加者の最年少は東海支部の川澄未来子会員のお嬢様であることが、ポスター発表を行っている写真とともに紹介され、参加者から称賛の声を浴びていた。